

報道関係者各位

Library of the Year 2007 最終選考について

「Library of the Year」は、これからの図書館のあり方を示唆するような先進的な活動を行っている機関に対して、NPO法人 知的資源イニシアティブ (IRI) が毎年授与する賞です。

11月9日(金) 10:30~12:00 パシフィコ横浜(横浜市みなとみらい)にて、最終選考を公開いたします。最終選考では、各館についてプレゼンテーションを行い、IRIメンバーのディスカッションを経て大賞を決定します。大賞プレゼンターとして片山善博氏(慶應義塾大学教授、前鳥取県知事)が来場します。

2007年は、第一次選考に残った15施設・団体の中から、次の4館が最終選考対象館に選ばれました。

<p>■ 愛荘町立愛知川図書館 <u>プレゼンター: 大串夏身(昭和女子大学教授)</u> 図書館員がそれぞれの専門分野を持ち、町づくりに積極的に関わっている点が評価されました。 住所: 滋賀県愛知郡愛荘町市 1673 電話: 0749-42-4114</p>	<p>■ 静岡市立御幸町図書館 <u>プレゼンター: 長谷川豊祐(鶴見大学図書館)</u> 立地条件を生かして、ビジネス支援サービスなどを計画的に展開し、基本構想に基づいた運営を実現している点が評価されました。 住所: 静岡県静岡市葵区御幸町 3-21 電話: 054-251-1868</p>
<p>■ 矢祭もったいない図書館 <u>プレゼンター: 柳与志夫(千代田区 区民生活部)</u> 蔵書のすべてを寄贈により収集するという手法の独自性とその実効性が評価されました。 住所: 福島県東白川郡矢祭町大字東館字石田 25 電話: 0247-46-4646</p>	<p>■ 横芝光町立図書館 <u>プレゼンター: 宇陀則彦(筑波大学准教授)</u> インターネットを活用し、資料の利用を掘り起こすとともに、双方向の情報発信を行っている点が評価されました。 住所: 千葉県山武郡横芝光町宮川 11,917 電話: 0479-84-3311</p>

取材をご希望の方は事前に下記問い合わせ先までお知らせください。

この最終選考は、パシフィコ横浜で開催される第9回図書館総合展の一環です。図書館総合展の会期中(11月7日～9日)、展示会場にて最終選考対象4館のアピール展示ブースが設けられます。

当日は、大賞とは別に、参加者が選ぶ「会場賞」も用意しています。

◎「Library of the Year」は、IRIで図書館コンサルティングを担当するメンバー(座長：慶應義塾大学教授 田村 俊作)が中心となり、全国の図書館など知的資源に関わる機関を対象として授与する賞で、2006年に始まりました。

第1回の“Library of the Year 2006”は、鳥取県立図書館が受賞しました。同館はビジネス支援サービスをはじめとしためざましいサービス活動を展開するとともに、市町立図書館および学校図書館との連携により、県全体の図書館サービスのレベルアップに積極的に取り組んでいます。地域の中で、地域に関わって活動することにより、地域の役に立つ図書館をめざす、というこれからの図書館のあり方を示した点を評価しました。

■お問い合わせ先

田村 俊作 (慶應義塾大学) 03-5427-1222 (直)